 帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


情報と職業
情報メディアが変える仕事(2)

中野秀男
情報メディア学科/ICTセンター長

1 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20

今日の話


- ▶ 質問とコメントの回答
- ▶ 働く環境と労働観の変化
 - ▶ 働く環境の変化
 - ▶ 職場環境の変化
 - ▶ 仕事内容の変化
 - ▶ 職場での情報リテラシー
 - ▶ 情報化による業務内容の変化
 - ▶ 企業の情報化と求められる人材の変化
- ▶ 今日のキーワード
 - ▶ テレワーキング、グループウェア、ウェブ会議
 - ▶ Git/GitHub、REDMINE
- ▶ 業界や職種で具体的に

 帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

▶ 2 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20

質問とコメント(1)

- ▶ 三人のゲストスピーカーの話を聞いて色々な仕事がある
- ▶ 三人のゲストスピーカーの話を参考に
- ▶ 全部ネットでできるので、会社に通うことがなくなるか
- ▶ 日本の就職活動の新卒至上主義はなぜか
- ▶ アメリカは自由な国なので失敗しても当たり前
- ▶ どんな人でもできる仕事は
- ▶ 広告やコンテンツプロデューサーの仕事に興味
- ▶ 働くにはお金の管理とか様々な知識が必要
- ▶ 興味のない分野も少し学んでも別に損はない
- ▶ どのような職場環境がいいのか
- ▶ 女性が働きやすい環境とか、手当とか

 帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

▶ 3 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20

質問とコメント(2)

- ▶ 自分の机のない職場に興味。問題は
- ▶ 就職して3年で3割やめる。中古卒。
- ▶ 情報のおかげで今の社会が成り立っている
 - ▶ 情報を扱う人材が不可欠
- ▶ 情報メディアが色々な仕事に関わっているのは知っていたが、こんなに深く関わっていたかと
- ▶ 時間があつたら副業でも
- ▶ Sunday Programmer
- ▶ 若いうちに稼いであとは遊ぶ
- ▶ アメリカ的なものがチャレンジしやすいのか

質問とコメント(3)

- ▶ アプリを作るなら絵も上手になりたい
- ▶ 将棋アプリの無料版と有料版の違いは
- ▶ プログラミングは難しい
- ▶ アプリでもデザイン系でもコンテンツ系でもSNSは必要
 - ▶ アプリ内にSNS連携機能を
- ▶ プログラミング言語を一つ覚えるとあとはわかりやすい
- ▶ iPhoneアプリ制作などどこから入れば。まずはMacか
 - ▶ 本を買うのか
- ▶ プログラムは動くものを真似ては、具体的には
- ▶ アプリを制作は喰っていけないが仕組みを覚えるのはよい
- ▶ どうプログラムを組むかが重要

質問とコメント(4)

- ▶ アプリを作ったりシステムを作る仕事は出来高制
- ▶ アプリを作るのにもオリジナリティや発想力が
- ▶ 売れるアプリを作るのは大変
- ▶ アプリの広告のクリックでお金が
- ▶ ブログやSNSで同じ商品をおすすめして広告料
- ▶ AIが発達してもプログラマは必要。AIがAIをプログラムしないか
- ▶ 顔のマッピング技術
- ▶ 似てる俳優を連れてくるのはすごい
- ▶ 8Kテレビが出てきて、4Kは古い？
- ▶ VRに興味
- ▶ CESIに興味があった

質問とコメント(5)

- ▶ ロボホンの値段がiPhoneの2倍ぐらい
- ▶ ロボホンの機能をもう少し見てみたい
 - ▶ 投資とはいえ20万は高い
- ▶ いずれ一家に一台ロボットが。人が退化するか
- ▶ 任天堂がニンテンドースイッチでスマホと連携
 - ▶ スマホ中心の今の流れをどう思うか
- ▶ マンボウが成長してない
- ▶ マリオランは高くない
- ▶ いやし系のアプリで本当にいやし効果があるか
 - ▶ 自分の好きなアプリをする方がいやされるのでは
- ▶ 戦闘ゲームの中身は

働く環境と労働観の変化(1)


- ▶ **働く環境の変化**
 - ▶ 企業のアイデンティティ
 - ▶ 個人のアイデンティティ
 - ▶ 専門性の向上と資格取得
 - ▶ 各業務のスペシャリスト(専門職)に vs ジェネラリスト(一般職)
 - ▶ 人事制度の変化
 - ▶ ビジネスのグローバル化
 - ▶ vs 地域に特化したローカライゼーション
 - ▶ ビジネスのスピード化

働く環境と労働観の変化(2)

- ▶ **職場環境の変化**
 - ▶ 在宅勤務
 - ▶ SOHO: Small Office/Home Office、サテライトオフィス
 - ▶ モバイルオフィス
 - ▶ コワーキング、コワーキングスペース
 - ▶ 自分の机のない職場
 - ▶ ラーニングコモンズ
- ▶ **仕事内容の変化**
 - ▶ 販売員の存在意義
 - ▶ 中間管理職の存在意義: 運用部門/会社と開発企画部門/会社
 - ▶ 電子メールやグループウェアによる社内コミュニケーション


働く環境と労働観の変化(3)

- ▶ 職場での情報リテラシー
 - ▶ パソコンでの文書管理能力 → デザインや映像にも
 - ▶ パソコンのシステム管理 → クラウド利用とPC、タブレット、スマホに
- ▶ 情報化による業務内容の変化
 - ▶ 鉄道の改札業務
 - ▶ 銀行の窓口業務
 - ▶ 旅行代理店
- ▶ 企業の情報化と求められる人材の変化
 - ▶ 情報システムに対する基礎的な知識を将来を読む力
 - ▶ 企画提案力
 - ▶ プロジェクトを管理する力
 - ▶ 業務改善のための高い視点

▶ 10 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


テレワークとは

- ▶ テレワーク (Telework)
 - ▶ テレコミュティング (Telecommuting)
 - ▶ 勤労形態の一種で、
 - ▶ 情報通信機器等を活用し
 - ▶ 時間や場所の制約を受けずに、
 - ▶ 柔軟に働くことができる形態をいう。
- ▶ また、**テレワークで働く人をテレワーカーと呼ぶ**
- ▶ 昔はSOHO(Small Office/Home Office)
- ▶ 今は
 - ▶ コワーキングスペースでグループ作業や個人作業
 - ▶ のまど:喫茶店などで個人作業
- ▶ 奈良三郷町の「奈良サテライトオフィス35」

▶ 11 テレワーク/CCRCのための基礎講座 2016/11/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


情報メディア活用のために覚えること(1)

- ▶ PC、タブレット、スマホ → コンピューティングの進歩
 - ▶ 徐々にウェアラブル
- ▶ ネットワーク → ネットワークのスピードと種類の多さ
 - ▶ いずれ可視光通信やテレパシー通信
- ▶ コミュニケーション手段の多様化
 - ▶ メール
 - ▶ SNS: ソーシャルメディア
 - ▶ テレビの変化
 - ▶ テレビ会議の進歩
 - ▶ ここに人工知能やロボット技術(RT)が入ってくる
 - ▶ RT: ヒューマノイド、人の形をしていないロボット、コンピュータの中

▶ 12 テレワーク/CCRCのための基礎講座 2016/11/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


情報メディア活用のために覚えること(2)

- ▶ オフィスワーク
 - ▶ Word, Excel, Powerpoint, Access
- ▶ PIM
 - ▶ アドレス帳、予定表、お仕事リスト、小遣い帳
- ▶ コンテンツ
 - ▶ 音楽、映画、Wikipedia等の情報
 - ▶ それを探す検索エンジン, Youtube, Ustream
- ▶ 便利なアプリ
 - ▶ 色々なカテゴリーが

▶ 13 テレワーク/CCRCのための基礎講座 2016/11/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY


グループウェア

- ▶ Office系(Word, Excel, Powerpoint)の情報共有
- ▶ メールや掲示板などの連絡手段
- ▶ 予定や会議室の管理
- ▶ 色々なシステム
 - ▶ Office365
 - ▶ Google DocsなどのGoogleアプリ群
 - ▶ サイボウズ
 - ▶ サイボウズLive
 - ▶ ガルーン

▶ 14 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

ウェブ会議

- ▶ 複数人が参加するテレビ会議
- ▶ グループウェアとの連携
 - ▶ Office系、ウェブ
- ▶ 無料のシステム
 - ▶ Google Hangout
 - ▶ Facetime: 1対1
 - ▶ Video Skype
- ▶ 有料のシステム
 - ▶ Sococo
 - ▶ ZOOM

▶ 15 情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20  帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

Git, GitHub

- ▶ バージョン管理ツール
- ▶ バージョン管理
 - ▶ Who(誰が)
 - ▶ What(何か変更をしたのか)
 - ▶ When(いつ)
- ▶ 履歴を保存
- ▶ 過去のバージョンに戻る
- ▶ 何が起ったのを知る
- ▶ バックアップ
- ▶ 共同作業をする

▶ 16

情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20



REDMINE

- ▶ BTS(Bug Tracking System):バグ追跡システム
 - ▶ 紙の時代、メールの時代、ウェブとデータベース
- ▶ 障害管理の目的
 - ▶ 過去:すでに発生した障害の対応の漏れをなくす
 - ▶ 現在:状況を知り、作業を決める
 - ▶ 未来:プロセスやシステムを改善する
- ▶ REDMINE
 - ▶ Rubyで書かれたオープンソースシステム
 - ▶ 障害管理からチケット管理へ
 - ▶ トレーサビリティ
 - ▶ コミュニケーション
 - ▶ プロセスの遵守

▶ 17

情報と職業 情報メディアが変える仕事(2) 2017/1/20